

杉山開知氏がナビゲートする 地球暦ワークショップ

2011年5月6日(金)

〈昼の部〉午前11時00分～午後3時00分
(昼休憩 午後12時30分～1時30分)

〈個人セッション〉午後3時15分～ 限定2名

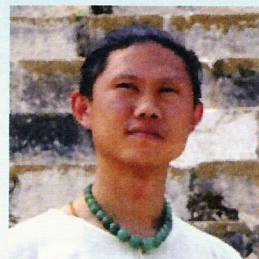
〈夜の部〉午後6時30分～午後9時30分

※〈昼の部〉と〈夜の部〉の内容は同一です。

【会場】本野ふれあい会館 (諫早市上大渡野町2-1)

【参加費】ワークショップ3,000円

個人セッション7,000円/1時間



【すぎやま かいち氏プロフィール】

1977年12月26日生まれ。静岡在住。太陽系の時空間地図「地球暦」制作者。日本を含む古代太陽信仰の暦を研究し、2008年これまでの暦の概念を超えた地動説の暦「地球暦」を開発。各地で普及セミナーを行う。半農半暦の生活をする二児の父。

～ひとりにひとつの宇宙がありこの銀河の中で、太陽として生きる～

星はなぜ光り、回るのか？

どこから生まれて、どこへ行くのか？

すべてを貫く、宇宙の法則について銀河人(先住民)の視点から見た、形と運動の考察。
おもわず、体内時計のスイッチが入る、時空のおはなし。

第一部 『太陽、月、地球の三位一体で織りなす暦の基本』

“二十四節気”と“朔弦望”、これがわかれば、暦がわかる！

宇宙を見るのではなく、宇宙の方から見た地球の動きで、理解する太陰太陽暦。

第三部 『円盤に乗り、太陽系を旅する、時空間地図』

地球暦を広げて、実際にマップの上で、今日の太陽系を見てみます。

簡単なピンの挿し方から、惑星感覚や、周期の秘密など、円盤を使った思考方法。

日本語で話す、暦の用語など。

番外編 『私は、どんな星のもとに生まれたの？』

太陽系の惑星は、調和系という天然の時計の針として、精密に時を刻んでいます。

地球暦のマップと惑星シールを使って、誕生日から出生時の太陽系を作ってみます。

あなたが生まれた日は、どんな印象なのでしょう？

【主催】暦の会

【お申し込み・お問い合わせ】 TEL 090-1514-0145 (把野)

TEL 090-2084-0898 (アカシ)